

はるのかげが、やさしく
いていた。みちには、ちいさ
なはながさいている。ばしや
のおとが、しずかにまちをぬ
けていく。
どこかとおくへいきたくなる
ようなごごだった。

よみつりいち「はるはばしやにのって」より